

千代田区

町会ってなんだろう? どんな活動しているの? あらぶんちょ地区の町会長にち聞きます

あらぶんちょ町会見聞録



町会に参加すると、地域に仲間ができたり、自分が住んでいるまちに
対して愛着が生まれたり。まずはお祭りやイベントに参加してみよう!



「フラワーロードの会」が手がける花壇
がまちに彩りを添えている

近所同士で協力し 気持ちよく暮らせる 環境づくりを

歴史、由緒ある町会を「見える化」してオープンに

三番町町会 会長 上村 友子さん

新しく越してくる住民に活動を知つてもらいたい

私自身は2000年にここに越してきて、PTA活動、マンションの自治会に引き続き、町会の業務を手伝ってきました。会長になり2年目ですが、所属している麹町地区連合町会の毎月の会合で情報収集をしたり、三番町町会内でも「この分野を手伝ってくれる人、いませんか?」と積極的に声をかけたりと、まわりに助けてもらなが建て替えてマンションが増え、新住民が多くなっているからこそ、その人たちにいかに町会の活動を知つてもらうか、参加してもらうかという課題に、さまざまなかからアプローチ中です。



●三番町町会

千鳥ヶ淵緑道や東郷元帥記念公園があり、大学などの教育施設も多いエリアの町会。近年は戸建てや商店街が集合住宅へと変わり、2,600人ほどいる町会員もほぼマンション住民で構成されているほか、学校法人や企業も参加している。

町会の顔が見える
機会を増やしたい

住民だけでなく教育
機関とも手を組んで



6年ぶりに行われた山王祭は、インスタグラムでも住民に向けて山車や神輿の担ぎ手を募集。大きく盛り上がった。

イベントも企画しました。夏に予定していた「みんなの東郷公園まつり」は、その一つ。町会エリアのシンボルでもある公園を舞台に、通りがかりに世代関係なく気軽に参加できるよう、水遊びコーナーの用意やキッチンカーを呼ぶ準備をしました(台風で11月3日に延期)。このように企画は今後も仕掛けていきたいですね。



世代を超えて楽しんでもらいたい、という思いで延期を乗り越え開催された「みんなの東郷公園まつり」。

このエリアは教育機関が多いのも特徴で、小学校や一部の大学とは協働もしています。例えば大妻女子大、九段小学校、子育てひろば“あい・ぽーと”とは「フラワーロードの会」を結成し、春・秋に街路への植花活動を行っています。また、連合町会で行う麹町納涼子ども会では、大学生がボランティアとして参加してくれるなど、多方面から町会の活動に携わってくれる人が多いんです。町会が何をしているか、どんな人がいるのかわかる機会が増えたら、より多くの人に興味を持つてもらえると思うので、会長着任後、今までなかつたイベントも企画しました。夏に予定していた「みんなの東郷公園まつり」は、その一つ。町会エリアのシンボルでもある公園を舞台に、通りがかりに世代関係なく気軽に参加できるよう、水遊びコーナーの用意やキッチンカーを呼ぶ準備をしました(台風で11月3日に延期)。このように企画は今後も仕掛けていきたいですね。



年に2回大和橋公園で行う植花活動。今年の春は70周年を祝う「WA3♡」の花壇アートに。この様子はYouTubeでも配信

住民、企業が連携して、活発に多彩な町会活動を

岩三町会ならではの工夫を凝らしたイベントで、携わるみんなが笑顔に

岩本町三丁目町会 会長 小澤 正治さん

した。このエリアは昔から繊維・紳士服の問屋街として知られていましたが、今は紳士服店も問屋も少なくなり、企業が入居するビルや集合住宅が多くなりました。山崎製パンさんや、貝印さんといった大きな企業、古くからこの辺りに根づいている中小企業と、町会協力企業が多いのはこの町会の特徴です。昔は職住一体の企業も多くありました。今は違う地域に住んでいたながら、町会員を担つている人や、長くまちにつながっているメンバーも多くいます。町会としては、コロナ禍で先延ばしとなっていた創立70周年記念祝賀会を今年5月に開催しました。

住む場所が変わつても、変わらないまちの繋がり

このエリアは昔から繊維・紳士服の問屋街として知られていましたが、今は紳士服店も問屋も少なくなり、企業が入居するビルや集合住宅が多くなりました。山崎製パンさんや、貝印さんといった大きな企業、古くからこの辺りに根づいている中小企業と、町会協力企業が多いのはこの町会の特徴です。昔は職住一体の企業も多くありました。今は違う地域に住んでいたながら、町会員を担つている人や、長くまちにつながっているメンバーも多くいます。町会としては、コロナ禍で先延ばしとなっていた創立70周年記念祝賀会を今年5月に開催しました。



●岩本町三丁目町会

1952年に創立され、70年以上の歴史を持つ。昔は紳士服の問屋街として知られ、問屋を営む人たちも住居を構えていたが、問屋が少くなり集合住宅が増えた今、住民と企業が約3:7の割合で構成されている。



焼きそばなどの屋台出店や、サンバなどの出し物で盛り上がった2024年のサマーフェスティバル。



掘り出し物が見つかると人気のファミリーバザールは、次回11月30日・12月1日・7日・8日に開催予定。

ではサンバチーマに来てもらつて通りを練り歩きながら踊つてもらいました。これがすごく華やかで、いろんな世代の人たちが楽しんでいる姿が見られて、とても印象深いものになりました。大門通り全体を使って行うので、通つた人が気軽に参加できるのもこのサマーフェスティバルの良いところです。

多くの社員が担当にきてくれて会創出にもなっています。神田祭の神輿も、町会協力企業から多くの社員が担当にきてくれていますし、役員だけでなく色々な人が活動に関わってくれるのが、この町会の最大の強み。イベントや行事は準備が大変ですが、それを乗り越えることでまちの絆も強くなります。今後もまちの伝統を次世代に伝えつつ、関わるみんなが笑顔になれるよう活動をしていきたいですね。

業に声をかけて、それぞれ出店を担当してもらいます。町会として出し物も毎年企画していく。小学生ジャズバンドやフラダンスのグループを呼んだ年もあれば、最近ではサンバチーマに来てもらつて通りを練り歩きながら踊つてもらいました。これがすごく華やかで、いろんな世代の人たちが楽しんでいる姿が見られて、とても印象深いものになりました。大門通り全体を使って行うので、通つた人が気軽に参加できるのもこのサマーフェスティバルの良いところです。

町会協力企業を巻き込んで 活発化するイベント

多方面から参加を募り 伝統行事を盛り上げる

毎年春・秋に行われ、町会が後援する岩本町・東神田ファミリー バザールも多くの人で賑わいます。繊維問屋街として知られるまちの伝統を受け継ぐ、40年以上続いている行事として、町会としても最大限の協力をしたいと思っています。千代田区の大学生のボランティアにも手伝ってもらっていますが、若い世代が運営に携わることで、まちの魅力をより多方面に知つてもらえる機会創出にもなっています。神田祭の神輿も、町会協力企業から多くの社員が担当にきてくれていますし、役員だけでなく色々な人が活動に関わってくれるのが、この町会の最大の強み。イベントや行事は準備が大変ですが、それを乗り越えることでまちの絆も強くなります。今後もまちの伝統を次世代に伝えつつ、関わるみんなが笑顔になれるよう活動をしていきたいですね。

“スマホ入門講座”を定期的に開催しております

現在弊社ではご加入者様限定の「初心者のためのスマホ入門講座」を開催しております。2014年9月初回からこれまで112回の講座を開催し、約1,500名のお客様にご参加いただきました。当講座では、スマートフォンを全くさわったことがない方向けに電源の入れ方・タッチ操作などの基礎から始め、講座の後半では翻訳アプリやQRコードの使い方なども体験して学んでいただけます。

また、講座の最後にはお楽しみ抽選会や相談会も実施しております。

スマートフォンに買い替えをお考えの方、使い方がよくわからなくて困っている方、もっと使いこなしたい方など、ご家族やご友人をお説き合わせの上、お気軽にお申込みください。

次回開催：11/29（金）



詳細は[こちら](#)



※開催情報は、TCNホームページにてご案内しております。



幸得稲荷神社・会館。入口には小川町北部町会の4町会の旗が掲げられている

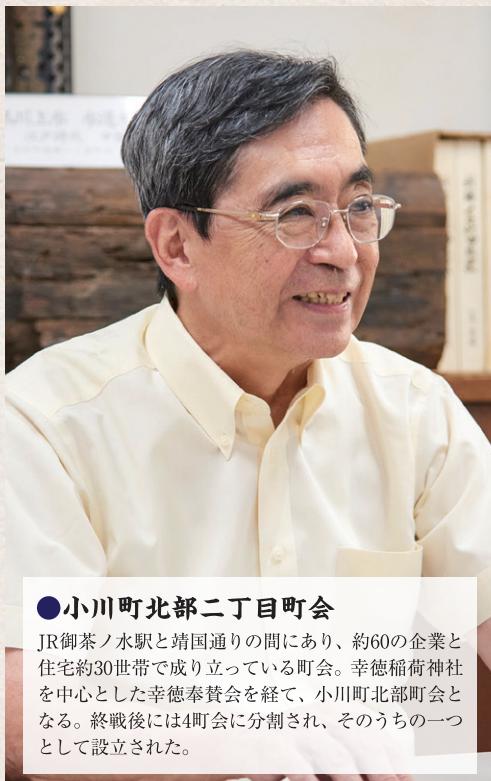
目指すのは、 隣近所の顔が 見える町会

幸得稲荷神社や小川広場を拠点に、幅広い世代に向けてアプローチを

小川町北部二丁目町会 会長 竹之内 純一さん

隣接する町会と連携も
このまちで生まれ育ち、小川町で祖父の代から営んでいる事業を継いだので、町会は身近な存在で、長く役員を務めたのちに2020年会長に着任しました。

戦前大きな組織だった小川町北部町会が、戦後に4分割された歴史がありますが、今も4つの町会はイベントや会合で親睦を深め、連合としての活動も数多くあります。昔から町内の守護神としていた幸得稲荷神社は、現在も4町会から神社の代表役員・責任役員が選出されており、様々な決め事を行う会も、幸得稲荷会館で開催されることが多いです。



●小川町北部二丁目町会

JR御茶ノ水駅と靖国通りの間にあり、約60の企業と住宅約30世帯で成り立っている町会。幸得稲荷神社を中心とした幸徳奉賛会を経て、小川町北部町会となる。終戦後には4町会に分割され、そのうちの一つとして設立された。



写真は2023年だが、2025年の神田祭に向けた準備もすでに始まっている。

イベントや会合では
隣接する町会と連携も
このまちで生まれ育ち、小川町で祖父の代から営んでいる事業を継いだので、町会は身近な存在で、長く役員を務めたのちに2020年会長に着任しました。

戦前大きな組織だった小川町北部町会が、戦後に4分割された歴史がありますが、今も4つの町会はイベントや会合で親睦を深め、連合としての活動も数多くあります。昔から町内の守護神としていた幸得稲荷神社は、現在も4町会から神社の代表役員・責任役員が選出されており、様々な決め事を行う会も、幸得稲荷会館で開催されることが多いです。



非常時用トイレのほか、泡シャンプーやペーパー歯磨きなど、災害時を想定して必要なものをセットにし、会員に配布した。

イベントや会合では
隣接する町会と連携も
このまちで生まれ育ち、小川町で祖父の代から営んでいる事業を継いだので、町会は身近な存在で、長く役員を務めたのちに2020年会長に着任しました。

戦前大きな組織だった小川町北部町会が、戦後に4分割された歴史がありますが、今も4つの町会はイベントや会合で親睦を深め、連合としての活動も数多くあります。昔から町内の守護神としていた幸得稲荷神社は、現在も4町会から神社の代表役員・責任役員が選出されており、様々な決め事を行う会も、幸得稲荷会館で開催されることが多いです。

行事ごとに、町会単体でやるもの、連合で行うものを含めれば多い方かと思います。特徴的なものは、単体では神田祭のない年の秋に親睦会を行っています。コロナ前だとアサヒビールの工場見学が好評でしたし、今年は10月後半に東京湾クルーズを行いました。コロナ禍が明けてからの親睦会は今年が初めてだったので、みんな楽しみにしてくれていたようです。

連合で行うものだと幸得稲荷神社で行われる節分祭や、小川広場で晩夏に行う夕涼み会でしょうか。節分祭は毎年2月3日に神田神社から神職を招いて厳かに行われます。約200名が参加する夕涼み会は、焼きそばやバーベキューを鉄板で楽しんだり、子どもたちが水かけ祭りではしゃぐ姿も見られ、幅広い世代の人々が参加してくれるのがうれしいですね。

連合・単体それぞれで 行う多彩な行事

町会であるために コミュニケーションがとれる

行事ごとに、町会単体でやるもの、連合で行うものを含めれば多い方かと思います。

特徴的なものは、単体では神田祭のない年の秋に親睦会を行っています。コロナ前だとアサヒビールの工場見学が好評でしたし、今年は10月後半に東京湾クルーズを行いました。コロナ禍が明けてからの親睦会は今年が初めてだったので、みんな楽しみにしてくれていたようです。

連合で行うものだと幸得稲荷神社で行われる節分祭や、小川広場で晩夏に行う夕涼み会でしょうか。節分祭は毎年2月3日に神田神社から神職を招いて厳かに行われます。約200名が参加する夕涼み会は、焼きそばやバーベキューを鉄板で楽しんだり、子どもたちが水かけ祭りではしゃぐ姿も見られ、幅広い世代の人々が参加してくれるのがうれしいですね。

都心にあるからこそ、「隣近所に誰がいるかわかる町会にしたい」という思いで活動をしており、特に非常時などにはその繋がりがとても大切になります。町会の役員会でも日々その意識を持ちつつ、決め事をしています。例えば千代田区の防災観点が「できるだけ家に留まる」ということから、防災対策についての話し合いでは意見交換の末、「ヘルメットよりも非常時に自宅で使える衛生用品が良いのでは」となり、非常時用トイレをはじめとした災害時用衛生セットを配ることにしました。

イベントや行事ももちろん大事ですが、こうした議論の場も積極的に設けることで、目指している町会の姿に近づけばと考えています。昨年の4年ぶりの神田祭を経て町会活動も活発化してきているので、今後は若い世代にも町会の存在を知つてもらえるようなことを考えていきたいです。

第15回あらぶんちょドラマチックフォトコンテスト ～のこしたいヒトとき～受賞作品展開催のお知らせ

あらぶんちょエリアの魅力を再発見すべく開催しているフォトコンテスト。今回入賞した35点の素敵な作品を展示いたします。ぜひお越しください♪

TCNからのお知らせ②

グランプリ「レコーディングわくわく！」佐藤萌さん
[撮影場所／キングレコード関口台スタジオ]



◇受賞作品展 詳細◇

開催時期：2025年1月12日(日)～15日(水)
開催場所：文京シビックセンター1階
アートサロン(文京区春日1-16-21)

★入場無料
★本コンテスト特別審査員でイラストレーターの上野啓太氏による「一本の線からはじめるスケッチ画講座」も1月13日(月・祝)に開催！

詳細はこちら▼

